

宮崎大学HTLV-1/ATL総合診療研究ファシリティー主催

HTLV-1関連疾患特別講演会 のご案内

特別講演

Charles RM Bangham 博士
(英国インペリアル大学教授)



「The human leukaemia virus HTLV-1: regulation of latency in vivo」

チャールズ・バンガム先生は、世界を代表するHTLV-1研究の第一人者です。先生はHTLV-1が発見されて間もないころから、HTLV-1の基礎研究を進められ、特にHTLV-1感染と免疫系に関して精力的に研究されています。昨年まで、国際レトロウイルス学会会長としてHTLV-1研究を先導し、これまでに、国際ヒトレトロウイルス学会賞、BMC Retrovirology賞など数多くの世界的な賞を受賞されています。今回のご講演では、先生の最新の知見をご紹介します。

日時：平成30年4月17日（火）午後5時～7時

場所：宮崎大学医学部臨床講義室 105教室

ミニシンポジウム（午後5時～）

1. 中畑 新吾（宮崎大学医学部 腫瘍生化学分野）
“Multistep leukemogenesis of adult-T cell leukemia (ATL) caused by genomic abnormalities”
2. 梅北 邦彦（宮崎大学医学部 免疫感染病態学分野）
“The involvement of HTLV-1 in the pathogenesis of rheumatic diseases”
3. 亀田 拓郎（宮崎大学医学部 消化器血液学分野）
“The impact of genetic mutations on the clinical outcome of ATLL”

参加は無料です。教職員、学生、どなたでも来聴できます。

宮崎大学医学部 腫瘍生化学分野 教授 森下 和広

E-mail : kmorishi@med.miyazaki-u.ac.jp